

1977年東京ライヴ! カラヤンとベルリン・フィル 絶頂期にして生涯最後のベートーヴェン・ツィクルス!

『最高に満足できる演奏会であった』ヘルベルト・フォン・カラヤン (1977年11月18日談話)



### カラヤン&ベルリン・フィル ライヴ・イン・東京1977 ●日本語解説付/ステレオ



ベートーヴェン交響曲全集I  
交響曲第1番、第3番「英雄」  
演奏:ヘルベルト・フォン・カラヤン(指揮)  
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
●TFMC 0025 録音:1977年11月13日



ベートーヴェン交響曲全集II  
交響曲第2番、第8番  
演奏:ヘルベルト・フォン・カラヤン(指揮)  
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
●TFMC 0026 録音:1977年11月14日(2番)17日(8番)



ベートーヴェン交響曲全集III  
交響曲第6番「田園」、第5番「運命」  
●TFMC 0027 録音:1977年11月16日



ベートーヴェン交響曲全集IV  
交響曲第4番、第7番  
●TFMC 0028 録音:1977年11月15日



ベートーヴェン交響曲全集V  
交響曲第9番「合唱つき」  
バーバラ・ヘンドリックス(ソプラノ)  
ヘルム・アルゲルヴォ(アルト)  
ヘルマン・ヴィンクラー(テノール)  
ハンス・ゾーティン(バス)  
プロ合唱団連合、東京藝術大学合唱団  
[田中信昭(合唱総指揮)]  
●TFMC 0029 録音:1977年11月18日



★TOKYO FMが全曲をなんと全曲録音しておりました。しかも録音にあたってはお馴染みTOKYO FMの名プロデューサーだった東条碩夫氏(現・音楽ジャーナリスト)があたり、さらにストコフスキーも絶賛した顔前の日本が誇る名エンジニア若林毅介氏を動員し万全の体制で臨みました。カラヤン生涯最後のベートーヴェン交響曲全曲演奏会がここによみがえります!

さて、今年の年末のクラシック業界最大の話は1977年、カラヤンがベルリンフィルと共に来日した時に演奏した「ベートーヴェン交響曲全曲」がCD化されたことです。この伝説の演奏会のCD化を実現したキング・インターナショナルの大川 健氏を講師にお招きし、下記により講演会&CDコンサートを行います。

なお、この全集には次のような特徴があります。

①カラヤン唯一のライヴによる「ベートーヴェン交響曲全集」です。

カラヤンは3回ベートーヴェン全集を録音していますが、すべてセッション録音です。今回の全集は唯一のライヴ録音であり、ライヴ録音ならではの高揚感に満ち溢れています。

②カラヤン生涯最後のベートーヴェン交響曲全曲演奏会

カラヤンは1989年、81歳で生涯を閉じますが、1977年の演奏はベートーヴェン交響曲全曲演奏としては生涯最後のものでした。

③未放送の「運命」「田園」(ステレオ)が収録されておられます。

77年の演奏会は第1番～第4番、第7番～第9番がエフエム東京から放送(ステレオ)され、第5番「運命」第6番「田園」はテレビ朝日から放送(音声モノラル)されております。今回の全集には未放送の「運命」「田園」(ステレオ)が収録されております。

#### 記

日時: 11月20日(土) 14時～

場所: 竜ヶ崎ショッピングセンター・2階・旧映画館

関東鉄道・竜ヶ崎駅徒歩3分(無料駐車場完備)

テーマ: 77年カラヤン・ベートーヴェン交響曲全集CD化の秘密

- ①CD化許諾までの紆余曲折
- ②「運命」「田園」ステレオ音源発見!
- ③マスタリングのポイント
- ④全集の聴きどころ

講師: 大川 健(キング・インターナショナル、プロデューサー)

入場料: 無料



ヘルベルト・フォン・カラヤン  
Conductor: Herbert von KARAJAN